

「サンプルを作るときは必ず工場に入る。自分で作業することもあるし、それで商品が変わってくることもある」と語るのはクリエイティブコミュニティーの斎藤麻美子取締役。同社は、少しだけ可愛くて懐かしい、レディスソックスを企画生産している。実際の生産はニッターに依頼するのだが、企

人

職



画した斎藤さん自ら工場に足を運ぶ。「機械から出てきた顔を見て、これいいなと思うことがあるし、現場に行ってみると違うものになることもある。職人の意見はものすごく貴重」と話す。

「初めて行った場所でも、において工場場所が分かる」というほどで、「私自身が職人なのか、机の上でものを作れない」のだそうだ。